

市内循環バスの実績報告及び 利用促進について

<目次>

第1 市内循環バスの実績報告等

- 1 平成29年度市内循環バスの利用実績
- 2 過去5年間の市内循環バスの利用実績の推移

第2 市内循環バスの利用促進について

- 1 平成30年1月開催の地域公共交通会議において示した利用促進策
- 2 現在実施中の利用促進策
- 3 今後、引き続き検討を行う利用促進策
- 4 その他の取組

第1 市内循環バスの実績報告等

1 平成29年度市内循環バスの利用実績

	上北台 ルート	玉川上水 ルート	武蔵砂川 ルート	西 ルート	ルート全体
輸送人員（人）	122,911	111,768	16,861	18,366	269,906
ルート毎の人員割合	45.5%	41.4%	6.3%	6.8%	100%
運賃収入（円）	16,075,923	14,618,006	2,206,292	2,400,445	35,300,666

※ 輸送人員に東京都シルバーパス利用者数は含まない。また、運賃収入に広告料収入は含まない

※ ルートごとの運賃収入は、総運賃収入を各ルートの輸送人員の割合で按分

2 過去5年間の市内循環バスの利用実績の推移

平成25年4月に実施した運行ルート等再編以後5年が経過し、各ルートとも利用者数はおおむね安定している。

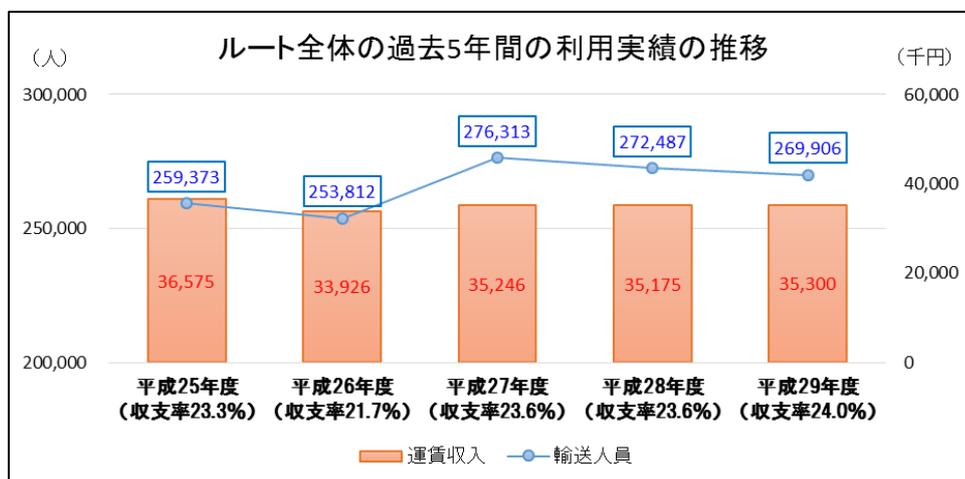
ルート全体の収支率は微増傾向で推移しているが、武蔵砂川ルート及び西ルートにおいては、低い利用率及び収支率で推移している。

引き続き利用傾向の分析等を行い、路線バスの状況及び乗合タクシーの運行計画等との調整を図りながら、利便性の向上及び収支率の改善策の検討及び実施を進めていくこととする。

【平成25年度～平成29年度のルート別利用実績】

	上北台ルート			玉川上水ルート			武蔵砂川ルート			西ルート		
	輸送人員 (人)	運賃収入 (千円)	収支率									
平成25年度	119,297	16,822	26.1%	107,829	15,205	30.1%	17,732	2,500	15.2%	14,515	2,046	8.0%
平成26年度	113,580	15,181	23.6%	107,872	14,418	28.6%	17,333	2,317	14.1%	15,027	2,008	7.9%
平成27年度	123,712	15,779	25.7%	117,665	15,007	31.2%	17,563	2,241	14.3%	17,373	2,217	9.1%
平成28年度	124,396	16,057	26.3%	114,703	14,808	30.9%	16,194	2,089	13.4%	17,194	2,219	9.2%
平成29年度	122,911	16,075	26.6%	111,768	14,618	30.8%	16,861	2,206	14.3%	18,366	2,400	10.0%

【平成25年度～平成29年度のルート全体の利用実績】



第2 市内循環バスの利用促進について

1 平成30年1月15日開催の地域公共交通会議において示した利用促進策

- | |
|-------------------------------------|
| ① 土休日に親子又は子供のみで市内循環バスを利用する際の割引制度の企画 |
| ② 小学校等でのモビリティマネジメントの企画 |
| ③ 市民まつり（村山デエダラまつり）における子供向けPR活動の実施 |
| ④ 小学生等を対象とした市内循環バススタンプラリー等の企画 |

2 現在実施中の利用促進策

(1) 小学生以下の児童を対象としたクイズラリー（1の④）

平成29年度に検証した市内循環バスの利用状況（土休日の利用率が平日の半数程度であること）等を踏まえ、小学生以下の児童を対象としたクイズラリーを開催することとした。

なお、本取組の参加対象は児童のみであるが、年少者については保護者が同伴する場合は多いと考えられるため、子育て世代の親等に対する利用促進の効果もあると考えている。

ア 概要

開催期間：平成30年8月1日～10月28日まで

対象者：小学生以下の児童

周知方法：○市ホームページ

○8月1日号市報

○市内循環バス車内広告（7月31日～10月30日まで）

○市内小学校の全児童への案内チラシ及びクイズ台紙の配布（約4,500枚）

○J:com（ケーブルテレビ）のニュースにおいて放映（8月31日）

参加賞：「MMシャトルを応援してね」メッセージ入り色鉛筆（12色）

参加方法：市内循環バス車内若しくは市ホームページからクイズ台紙を入手して参加

※クイズ台紙の裏面にはバスの乗り方及びマナー、簡易アンケートを記載

イ クイズラリー参加の流れ

1	クイズ台紙のQ1～Q3の答えを記入
2	10月27日、28日に開催される「むらやまデエダラまつり」に出展している「MMシャトル&モノレールでGO!」ブースにクイズ台紙を持参
3	「MMシャトル&モノレールでGO!」ブースでQ4に回答すると参加賞をプレゼント

ウ クイズ及び掲出場所

	問	掲出場所等
Q 1	市内循環バスの愛称は「〇〇シャトル」ですが、〇に当てはまるアルファベットは何？	クイズ台紙
Q 2	市内循環バスは何台の車両を使って運行しているでしょう？ (ヒント：サッカーは1チーム何人？)	市内循環バス車内
Q 3	バス停に貼ってあるキーワード①～③を順番に並べるとあるキャラクターの名前になるよ。	①かたくりの湯バス停 ②総合体育館バス停 ③イオンモールバス停
Q 4	市内循環バス（11台）が1年間に走る走行キロ数の合計は？ ①北海道（稚内市）から沖縄（那覇市）までと同じくらい（約2,500 km） ②地球1周分と同じくらい（約40,000 km） ③地球から月までの距離と同じくらい（約384,000 km）	デエダラまつりブース

(2) 村山デエダラまつりへの出展（1の③）

利用促進の一環として、毎年秋に開催される村山デエダラまつりに「MM シャトル&モノレールでGO！」ブースを出展している。

多摩都市モノレールの延伸に向けたPRとともにMM シャトルの認知度を広めることや未利用者への利用促進のための広報活動を行っている。

○ 実施内容（平成30年度実施予定）

- ① バス路線図、利用方法、運賃等の説明パネル展示
- ② 写真パネル等の展示（今年度はバスの車両整備の様子を説明入りで展示）
- ③ MM シャトルイラスト入りのメモ帳の配布
- ④ MM シャトルペーパークラフトの配布
- ⑤ クイズラリーの最終問題及び参加賞の配布

【参考】昨年度の「MM シャトル&モノレールでGO！」ブースの様子



3 今後引き続き検討を行う利用促進策

次に示す利用促進策については、実施内容の精査及び関係機関との協議を十分に行い、実施可能な時期に対応を図ることとする。

(1) 土休日に親子又は子供のみで市内循環バスを利用する際の割引制度の企画（1の①）

【課題等】

- 1 運行事業者と協議が必要
- 2 コミュニティバスでは対象外であるが、路線バスでは学校の長期休み等に合わせ、子供が50円均一で乗車できるサービス等を実施している。

(2) 小学校等でのモビリティマネジメントの企画（1の②）

【課題等】

- 1 小学校及び教育委員会と十分な協議が必要
- 2 小学校の年間カリキュラムは前年度中に決定されている

4 その他の取組

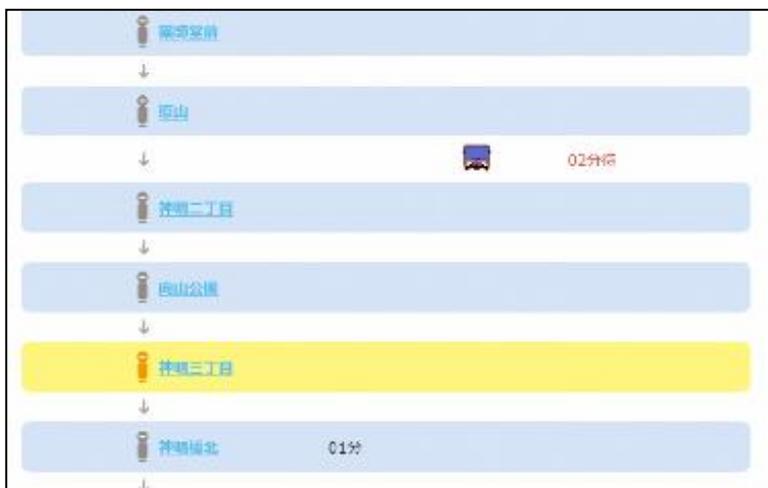
バスロケーションシステムの更新

現在、運用しているバスロケーションシステムが導入から10年（平成19年9月導入）が経過し、機器の不具合等が度々発生しているほか、システム構成も旧式のものであることから、今年度中を目途に新たなバスロケーションシステムへ変更を行う予定である。これにより、更なる利便性の向上を目指すこととする。

○ 新たなバスロケーションシステムへの変更のメリット

- ① 地図上にバス停、運行ルート及び運行車両の位置が表示されるため、土地勘がない利用者でも行き先等の把握が容易である。
- ② 運行車両の位置が地図上で確認できるため、バスの到着時刻の把握も容易である。
- ③ 導入経費（初年度のみ）を除くと年間運用経費が1/2以下に削減可能

【参考】 現行システムの画面（①）と変更予定のシステム画面（②）



① 【現行システム】

- ・バス停名のみでの表示で、バス停及び運往車両の位置の把握が困難
- ・通勤時と日中時のバス停名が混在しているために、予測が困難



②【新たなシステム】

- ・地図上にバス停及び運行車両の現在地が表示されるため、位置の把握が容易

- ・バスに乗り慣れていない人でも行先の予測が容易